

1. 略歴

1993年4月	東京大学教養学部文科 類入学
1995年4月	東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程進学
1997年3月	東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程卒業
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程入学
1999年3月	同 人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程修了
1999年4月	同 博士課程進学
2002年3月	同 博士課程単位取得退学
2004年4月	札幌学院大学社会情報学部講師(～2006年3月)
2005年5月	博士(社会学)学位取得(東京大学)
2006年4月	札幌学院大学社会情報学部助教授
2007年4月	信州大学人文学部准教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 受賞

2003年10月 日本生活学会から「第22回 研究奨励賞」受賞

(2) 著書

『住宅の歴史社会学：日常生活をめぐる啓蒙・動員・産業化』新曜社，2008年，334頁．

(3) 学術論文

「ことばのなかの住居：近代日本における『生活』の対象化」『ソシオロギス』24号，2000年：125-147．

「都市住宅調査と『住むこと』の発見」『年報社会学論集』15号，2002年：105-116．

「身体の造形力：戦時期における今和次郎の生活論」『ソシオロギス』26号，2002年：57-71．

「生活改善と生活学の誕生」川添登・佐藤健二編『今和次郎研究第一冊』(日本生活学会・今和次郎研究会)，2003年：34-57．

「郊外居住の歴史社会学：序論」『関東都市学会年報』7号，2005年：25-36．

「日常生活批判の60/70年代」北田暁大・水溜真由美・野上元編『カルチュラル・ポリティクス1960/70』，せりか書房，2005年：14-28．

「住宅の所有形態と生活意識」武川正吾編『福祉社会の価値意識：社会政策と社会意識の計量分析』，東京大学出版会，2006年：63-78．

「テレビ研究における民族的アプローチの再検討」『社会情報』(札幌学院大学社会情報学部)15巻2号，2006年：133-158．

「札幌市民のメディア利用とテレビ視聴態度：札幌市民の暮らしとテレビ調査2004」(高橋徹・中澤秀雄と共著)『情報科学』(札幌学院大学情報科学研究所)26号，2006年：13-30．

「住居：交渉過程としての住まい」佐藤健二・吉見俊哉編『文化の社会学』，有斐閣，2007年：57-81．

「札幌市民のメディア利用とテレビ視聴態度：札幌市民の暮らしとテレビ調査2005」(高橋徹・中澤秀雄と共著)『情報科学』(札幌学院大学情報科学研究所)27号，2007年：19-33．

「札幌市民のメディア利用とテレビ視聴態度：札幌市民の暮らしとテレビ調査2006」(高橋徹・高田洋と共著)『情報科学』(札幌学院大学情報科学研究所)28号，2008年：21-36．

「『義民の村』の自立戦略」村山研一編『地域ブランドの手法による地域社会の活性化』(2006～08年度科学研究費補助金・基盤研究(A)・研究成果報告書)，2009年：259-274．

「『社会調査のアーカイブズ学』の必要性：札幌学院大学 SORD が取り組んだ『夕張調査資料集成』作成経験からの提言」(中澤秀雄・西城戸誠・大國充彦・新國三千代・新藤慶・小内純子・高橋徹と共著)『理論と方法』24巻1号，2009年：121-128．

「住まいという場を読み解く」佐藤健二・山田一成編『社会調査論』，八千代出版，2009年：227-242．

- 「貧困調査と生活構造論」西城戸誠編『北海道における社会調査の水脈：戦後復興期から 1970 年代まで』（札幌学院大学 SORD プロジェクト），2010 年：56-79 .
- 「戦後日本の社会調査における住宅の対象化」（平井太郎・西野淑美と共著）『住総研 研究論文集』（住総研）38 号，2012 年：303-315 .

(4) 学会発表

- 「ことばの中の住居：大正昭和戦前期を中心に」1999 年 10 月，第 72 回日本社会学会大会（千葉大学）.
- 「作品としての住宅と公共事業」（上野千鶴子・佐藤健二・疋田真祐と共同），2000 年 6 月，第 48 回関東社会学会大会（東洋大学）.
- 「住み替えプロセスのなかの H 団地」（高橋康二・北村文と共同），2000 年 6 月，第 48 回関東社会学会大会（東洋大学）.
- 「大正昭和戦前期における『生活』の位相：今和次郎の農村住宅論を中心に」2000 年 11 月，第 73 回日本社会学会大会（広島国際学院大学）.
- 「都市住宅調査と『住むこと』の発見」2001 年 6 月，第 49 回関東社会学会大会（東京女子大学）.
- 「住居空間の歴史社会学」2003 年 10 月，第 76 回日本社会学会大会（中央大学）.
- 「郊外居住の歴史社会学：序論」2004 年 5 月，2004 年度関東都市学会・春季大会シンポジウム（関東学院大学）.
- 「ハウジングの文化社会学」2008 年 9 月，第 81 回日本社会学会大会（東北大学）.
- 「貧困調査と生活構造論：戦後北海道における社会調査史の再構成とデータアーカイブの構築(2)」2010 年 11 月，第 83 回日本社会学会大会（名古屋大学）.
- 「考現学とポスト社会的転回」2011 年 5 月，第 38 回日本生活学会ワークショップ「『考現学の教科書』を考える」（早稲田大学）.
- 「ハウジングの社会学と家族史の接点」2011 年 11 月，比較家族史学会第 7 回秋季研究大会（桃山学院大学）.

(5) 翻訳

- Robert K. Merton ,1948 ,“The Social Psychology of Housing.” in Wayne Dennis (ed.) ,*Current Trends in Social Psychology*, Pittsburgh: University of Pittsburgh Press , 163-217. (「ハウジングの社会心理学」信州大学人文学部『人文科学論集 人間情報学科編』45 号，2011 年：135-164) .

(6) 調査報告書

- 『江別市民の情報行動と地域生活』（編集）（札幌学院大学社会情報学部社会情報調査室），2005 年，119 頁.
- 『厚別区民の暮らしと意識』（編集）（札幌学院大学社会情報学部社会情報調査室），2006 年，140 頁 .
- 『江別市大麻・文京台地区のまちづくり』（高田洋と共編）（札幌学院大学社会情報学部社会情報調査室），2007 年，140 頁 .
- 『田園地域におけるコミュニティ形成』（村山研一・渡邊勉と共編）（信州大学人文学部社会・情報学講座），2008 年，255 頁 .
- 『自立とひとづくりの村』（村山研一・中嶋聞多・辻竜平と共編）（信州大学人文学部社会・情報学講座），2009 年，144 頁 .
- 『青木村の地域づくりと住民意識』（村山研一・辻竜平と共編）（信州大学人文学部社会・情報学講座），2010 年，195 頁 .
- 『松本市の多文化共生に関するアンケート調査報告書』（編集）（信州大学人文学部文化情報論研究室），2011 年，96 頁 .
- 『松本市の観光と文化に関するアンケート調査報告書』（水原俊博と共編）（信州大学人文学部文化情報論研究室），2012 年，70 頁 .

(7) その他

- 「桑田熊蔵」「金井延」「今和次郎」「住まい」「『居住と住居』文献表」庄司洋子・武川正吾・木下康仁・藤村正之編『福祉社会事典』，弘文堂，1999 年：153-154，230，335，559-560，1078-1081 .
- 「建築学における先行研究」「住宅政策と文化事業」「定住/非定住志向を規定するもの」上野千鶴子・佐藤健二編『住空間とコミュニティ』（東京大学文学部社会学研究室），2000 年：18-19，32-37，68-71 .
- 「ヴァルター・グロピウス」「今和次郎」「柳宗悦」「鈴木成文」大野木啓人・井上雅人編『デザインの瞬間』，角川書店，2003 年：286-295，318-327，328-335，372-379 .
- 「モノのバイオグラフィー：マテリアル・カルチャー研究と現代デザイン」『Design News』（日本産業デ

- ザイン振興会) 268号, 2003年: 16-23.
- 「生活空間のなかのテレビ視聴」高橋徹編『札幌市民のくらしとテレビ 2004 報告書』(札幌学院大学社会情報学部・北海道文化放送), 2005年: 51-74.
- 「サマリートーク: 第15回社会と情報に関するシンポジウム『ユニバーサルな社会とそのデザイン』」『社会情報』(札幌学院大学社会情報学部) 15巻2号, 2006年: 71-75.
- 「日常生活とメディア利用」高橋徹編『札幌市民のくらしとテレビ 2005 報告書』(札幌学院大学社会情報学部・北海道文化放送), 2006年: 35-61.
- 「福祉と情報の接点」『社会情報』(札幌学院大学社会情報学部) 16巻1号, 2006年: 95-100.
- 「情報メディアの普及と利用」高橋徹編『札幌市民のくらしとテレビ 2006 報告書』(札幌学院大学社会情報学部・北海道文化放送), 2007年: 49-59.
- 「重装備した住宅からの脱却を」『すまいるん』(住宅総合研究財団) 第88号, 2008年: 15-21.
- 「住居からみた戦後社会史」『出版ニュース』(出版ニュース社) 2171号, 2009年: 34.
- 「住宅の過剰/住まいの貧困」『オルタ』(アジア太平洋資料センター) 409号, 2009年: 24-26.
- 「長野県小県郡青木村でのフィールド調査実施報告」『地域ブランド研究』(地域ブランド研究会) 5号, 2009年: 165-174.
- 「居住形態と地域生活」村山研一編『安曇野の地域社会と景観に関する研究』(信州大学人文学部社会・情報学講座), 2010年: 3-24.
- 「住まいの文化」井上俊・長谷正人編『文化社会学入門』, ミネルヴァ書房, 2010年: 90-91.
- 「住まいの考現学」野口定久・外山義・武川正吾編『居住福祉学』, 有斐閣, 2011年: 130-134.
- 「戦争と平準化」野上元・福間良明編『戦争社会学ブックガイド』, 創元社, 2012年: 172-174.

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

立教大学社会学部非常勤講師(2003年度後期),
北海道教育大学教育学部札幌校非常勤講師(2006年度夏期集中),
札幌学院大学社会情報学部非常勤講師(2007年度夏期集中・2008年度夏期集中),
静岡県立大学国際関係学部非常勤講師(2008年度夏期集中・冬期集中),
筑波大学大学院人文社会科学部研究科非常勤講師(2010年度夏期集中)

(2) 学会活動等

日本社会学会, 関東社会学会, 日本生活学会, 関東都市学会, 日本社会情報学会, 福祉社会学会